



2003年 3月中間期 決算説明補足資料

伊藤忠食品株式会社

(証券コード2692)
2003年5月22日

1

本資料は、2003年3月中間決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また本資料掲載の事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更することがあります。
本資料は、2003年5月19日現在のデータに基づき作成しております。

2003年 3月中間期 決算の状況

2

【連結損益計算書】

	当中間期 (百万円)	売上比 (%)	計画比 (%)	前中間期 (百万円)	前期比 (%)
売上高	242,175	100.0	98.2	236,626	102.3
売上総利益	24,514	10.1	-	22,717	107.9
営業利益	2,744	1.1	99.1	3,070	89.4
経常利益	3,040	1.3	100.0	3,307	91.9
中間純利益	1,554	0.6	92.5	1,781	87.3

【連結貸借対照表】

	当中間期末 (百万円)	前中間期末 (百万円)	前中間期末比 (百万円)
総資本	127,509	133,175	5,666
株主資本	38,899	36,662	+ 2,237

	当中間期	前中間期	前期比
EPS	119.29円	136.68円	87.3%
DPS	10円	10円	100.0%

3

売上高

物量の増・単価の減 (前中間期比)

	物量	単価
酒類	107.8%	97.2%
食品	100.8%	98.9%

(返品・値引、ギフト・冷凍食品を除く、単独ベース)

主な取引増減インパクト

GMS、地域密着型スーパーとの取引増
 連結子会社1社増加による連結売上増 + 27億円
 物流収入売上の増 + 20億円
 取引先の帳合政策変更による売上減 40億円

取引先の見直し

新規取引先件数	28件
取引中止先件数	158件
2003.3末時点取引先件数	2,324件

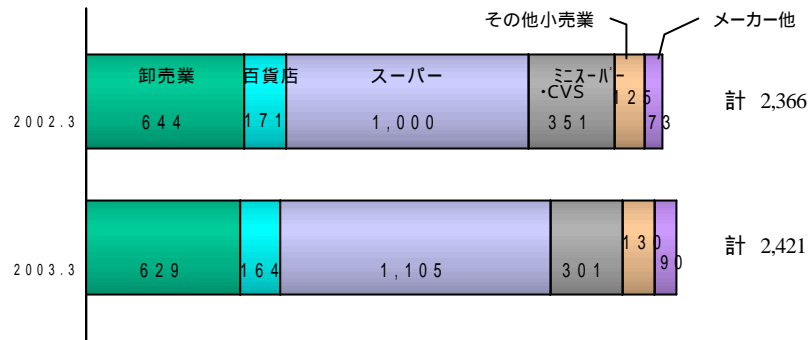
4

売上高



業態別売上高

【売上高推移】（億円）



	卸売業	百貨店	スーパー	ミニスーパー・CVS	その他小売業	メーカー他	合計
増減額（億円）	15	7	104	49	5	17	55
増減率	(2.3%)	(4.1%)	(10.5%)	(14.1%)	(4.2%)	(23.3%)	(2.3%)
当期構成比	(26.0%)	(6.8%)	(45.6%)	(12.5%)	(5.4%)	(3.7%)	(100.0%)

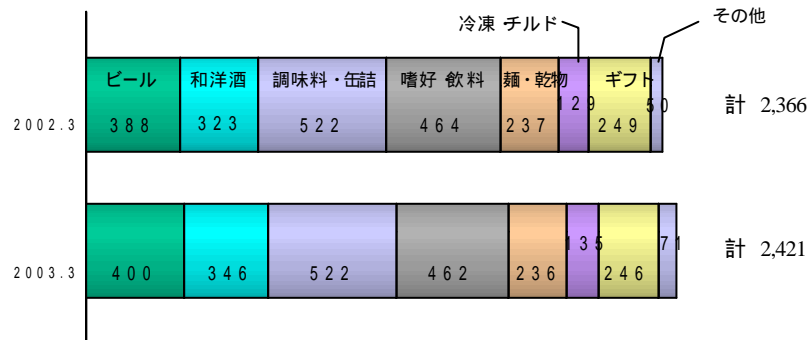
5

売上高



商品別売上高

【売上高推移】（億円）



	ビール	和洋酒	調味料・缶詰	嗜好・飲料	麺・乾物	冷凍・チルド	ギフト	その他	合計
増減額（億円）	11	23	0	2	1	5	3	21	55
増減率	(3.0%)	(7.4%)	(0.0%)	(0.5%)	(0.7%)	(4.3%)	(1.3%)	(43.1%)	(2.3%)
当期構成比	(16.5%)	(14.3%)	(21.6%)	(19.1%)	(9.7%)	(5.6%)	(10.2%)	(3.0%)	(100.0%)

酒類構成比 35.7%（前期 35.7%）

当期（ビール 16.5、和洋酒 14.3、酒類が 4.9）

前期（ビール 16.4、和洋酒 13.7、酒類が 5.6）

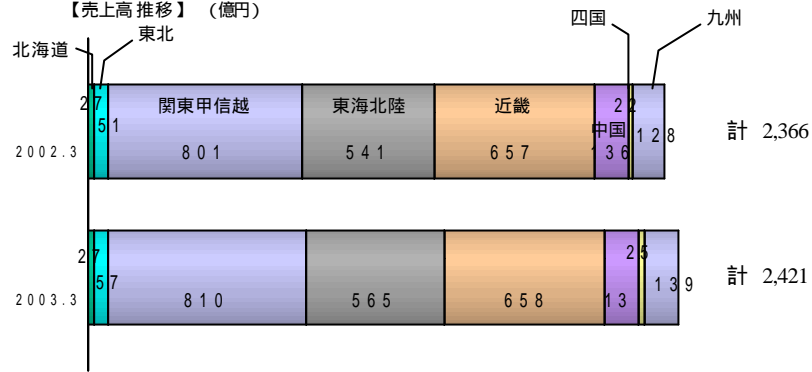
6

売上高

ISC

地域別売上高

【売上高推移】（億円）



	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国	四国	九州	合計
増減額（億円）	0	5	8	23	1	1	2	11	55.0
増減率	(3.0%)	(10.4%)	(1.1%)	(4.3%)	(0.3%)	(1.0%)	(12.5%)	(8.9%)	(2.3%)
当期構成比	(1.2%)	(2.4%)	(33.4%)	(23.3%)	(27.2%)	(5.7%)	(1.1%)	(5.7%)	(100.0%)

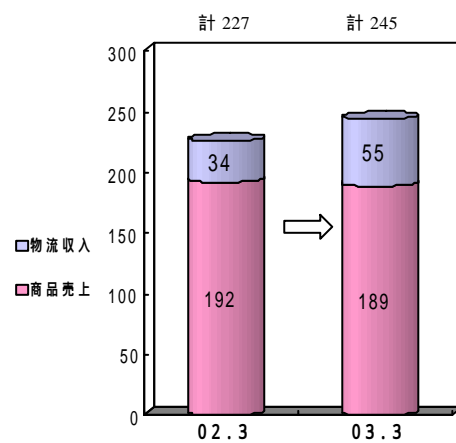
7

売上総利益

ISC

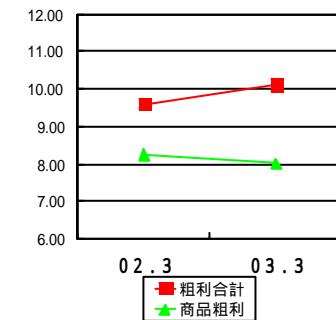
金額の推移

単位：億円



粗利率の推移

単位：%

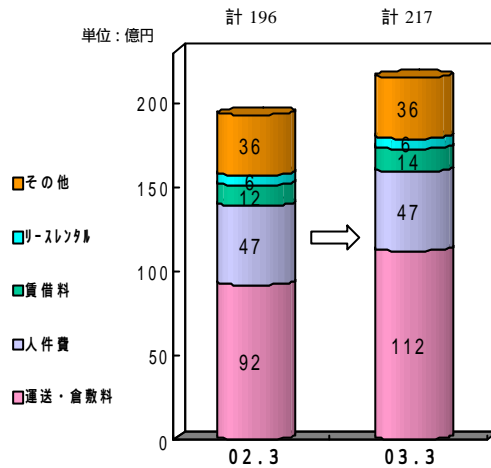


8

販売費及び一般管理費

ISC

販管費の推移



運送費・倉敷料 +19.8 (億円)

大阪西センター、狭山センター稼働による増加
+11.1

スーパー取引拡大、センターフィー増加
+2.2

一括物流委託費 (他ベンダー倉庫) 増加
+3.2

賃借料 +1.5

大阪西センター家賃等、増加

その他 0.2

(減価償却費)

ホストコンピュータおよび狭山センター
+0.5

(租税公課)

(前期) 狭山不動産取得税等
0.9

[連子] 連結子会社1社増加インパクト

販管費計
+3.9

9

営業外、特別損益

ISC

営業外収益

当期 3.1億円 (前期 2.6億円、前期比+0.5億円)

不動産賃貸収入 0.7億円 (前期比+0.1億円)

受取配当金 0.8億円 (前期比+0.3億円)

受取利息 0.4億円 (前期比+0.0億円)

その他雑収入 1.0億円 (前期比 0.0億円)

営業外費用

当期 0.2億円 (前期 0.3億円、前期比 0.1億円)

支払利息 0.0億円 (前期比 0.1億円)

その他 0.1億円 (前期比 0.0億円)

特別利益

当期 0.6億円 (前期 0.4億円、前期比+0.2億円)

投資有価証券売却益
0.5億円 (前期比+0.5億円)

貸倒引当金戻入益
0.0億円 (前期比 0.4億円)

特別損失

当期 2.9億円 (前期 1.8億円、前期比+1.1億円)

投資有価証券評価損
0.9億円 (前期比+0.5億円)

固定資産除却損

物流センター移転等
0.7億円 (前期比+0.6億円)

ゴルフ会員権等評価損
0.2億円 (前期比0)

退職給付会計基準変更時差異
0.9億円 (前期比+0.0億円)

10

貸借対照表

ISC

2003年3月31日現在

単位：億円

	当中間期	前中間期末	増減額
流動資産	821	880	59
固定資産	453	450	2
流動負債	864	937	70
固定負債	20	26	5
資本	388	366	22
総資産	1,275	1,331	56

流動資産

- § 短期運用預金（預け金）の縮小 40.0億円
- § 前中間期末休日要因等 41.3億円
- § たな卸資産残高増 + 9.2億円

固定資産

- § 狭山センター建物 + 7.1億円
- § 器具備品 減価償却による減等 3.3億円

流動負債

- § 前中間期末休日要因等 仕入債務の減 64.4億円
- § 短期借入金の減 10.0億円

固定負債

- § 繰延税金負債の減 有価証券含み益の減等

資本

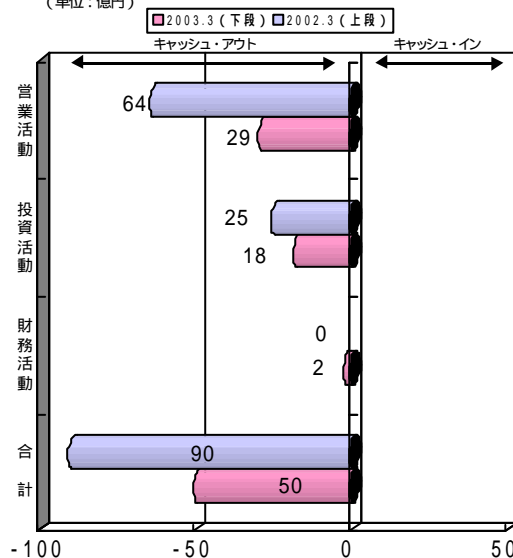
- § 剰余金の増 + 30.0億円
- § 有価証券評価差額 7.7億円 11

キャッシュ・フロー

ISC

キャッシュ・フローの推移

(単位：億円)



キャッシュ残高

当中間期末 48億円
【前期9月)末 96億円】
【純減額 48億円】

【前中間期との比較】

- § 営業活動によるキャッシュフロー (+ 35)
- 前期休日要因等による、売上債権・仕入債務の増減 + 49億円
- たな卸資産の増 4億円
- 法人税等支払い額の増 4億円
- § 投資活動によるキャッシュフロー (+ 7)
- 物流センター、情報システム投資の減 + 6億円
- § 財務活動によるキャッシュ・フロー (2)
- 借入金返済額の増 2億円

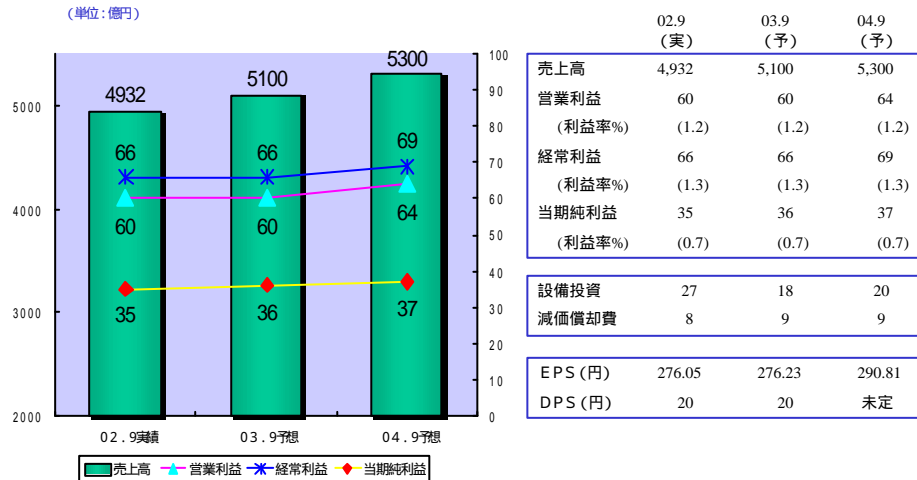
2003年 9月期以降の計画 (中期目標)

13

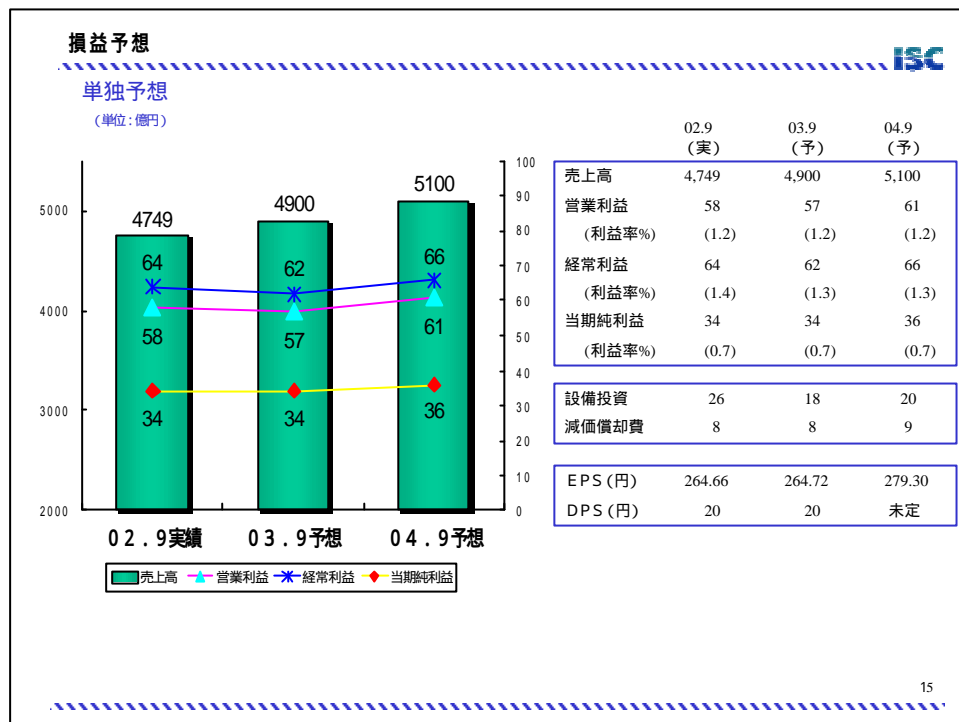
損益予想

連結予想

(単位: 億円)



14



**「食」を通じて消費者と社会に貢献する
リーディングカンパニー**

ISC

伊藤忠食品株式会社

2003年 5月 22日